



南区のまちづくりビジョン
と
その実現に向けた方策
(中間報告)



南区長 渡辺 稔

1

〈区ビジョンの将来像〉は

大地の恵みと伝統・文化に
はぐくまれた郷土愛にあふれる
いきいきと暮らせるまち

2

1 6 の南区の短期・中長期的課題

- ◎防災・防犯意識の向上
- ゴミの減量化と空き家対策
- ◎地域包括ケアシステムの構築
- ◎健康診断受診率の向上
- 障がい者の自立支援
- ◎コミュニティ協議会・自治会の自立
- 子供たちの区への愛着心醸成
- ◎中心市街地の活性化



3

1 6 の南区の短期・中長期的課題

- 公共交通対策
- 企業誘致
- ◎伝統産業の活性化
- 交流人口の増加
- ◎効率的な魅力発信
- 地域文化の魅力拡大
- スポーツを活用したまちづくり
- ◎民間活力の導入



4

南区の短期的・中長期的課題解決



MSK47プロジェクトを推進

市民協働が進む



仕掛人が育つ

区民力の向上



まちの活性化

持続可能なまちづくり

5

「MSK47」プロジェクトとは

◎将来像達成には市民協働が不可欠

* 「MSK47」

・ MSK → 南区 (M) ・ 市民 (S) ・ 協働 (K)

・ 47 → 「4つの目指す区のすがた」
「7つのまちづくりの方針」

6

[4つの目指す区のすがた]

1. ひととひとがふれあい，安心して
いつまでも暮らせるまち
2. 誰もが快適に移動できる
交通の利便性が高いまち
3. 農商工の連携が，新たな活力を
生み出すまち
4. 大凧が舞い，獅子が跳ね，
ル レク チエが実るまち

7

[7つのまちづくりの方針]

1. 安心して快適に暮らすまちづくり
2. 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり
3. 区民や地域が主役となるまちづくり
4. 交通の利便性の高いまちづくり
5. いきいきと働けるまちづくり
6. 活力ある魅力的な農業を活かしたまちづくり
7. にぎわいと多彩な交流のまちづくり

8

方針1. 安心して快適に暮らす まちづくり



(主な取り組みと目標)

- ①一斉防災訓練を毎年実施し防災意識の向上
 - ・参加者を3年後1,200人から2,000人に
 - ・中高生対象の防災,防犯教育を実施

↓

- 平成30年11月4日 南区総合防災訓練を実施
避難所開設訓練11地区,参加者3,163人
平成31年度目標 参加者3,500人
- 白根高校の生徒が防災ボランティアとして協力

9

②空き家対策

- ・悉皆調査データを基に区民と対策を検討

↓

- 平成30年10月末 自治会等の協力のもと,区内の全240自治会の簡易調査と現地確認を完了

南区内の空き家件数は約600件

- 今後は,コミ協等の役員と空き家に関する情報共有をすすめ,市の協定団体等と連携しながら,空き家相談会を開催するなどして,空き家の利活用に向けて取り組む

10

③ゴミ減量化

- ・コミュニティ協議会単位での講習会の開催
- ・ダンボールコンポスト普及率1位を堅持



■平成29年度 普及率1位を堅持



段ボールコンポスト販売会を継続実施

南区1人1日あたりのごみ排出量	目標	500 g
	実績	502 g

11

方針2. 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり

(主な取り組みと目標)

①地域包括ケアシステムの構築

- ・地域の茶の間の充実

現在49か所から3年後には70か所程度に拡大



■平成29年度

地域の茶の間 開設件数：58件



12

- ②受診率向上のためミニドック型集団健診を拡大
・ 3年後の受診率を39%に(27年度32.7%)

↓

- コミ協を通じて受診の働きかけを実施
■平成29年度 特定健診受診率：36.3%

- ③障がい者の自立支援

- ・ 28年度 障がい者施設で農産加工品を試作
・ 次年度販売へ(大麦パンなど)

↓

- 平成29年度
桃・ル レクチエ 2種類のドレッシング販売開始
販路拡充 商品販売の店舗数：16店舗

13

方針3. 区民や地域が主役となる まちづくり

(主な取り組みと目標)

- ①コミュニティ協議会の自立支援
・ 今年度「元気の種事業」で7地域が企画提案
そのうち3地域を採択。29・30年で事業実施

↓

- 平成30年度 「元気の種事業」終了予定
■平成30年度 自治協提案事業の新規事業として
「まちづくり活動サポート事業」を開始
4団体の活動事業を1事業につき50万円を上限に支援

14

②子供たちの地域への愛着心育成

- ・ 28年度中学生の提案を区づくり事業に反映
次年度も提案を事業化
- ・ 防犯，防災教育の推進
白根高校や中学校の
ヤングボランティアを支援



- 平成30年度 全中学校を対象としていた「未来創造教室事業」に小学校6校を追加拡充
- 平成31年度 全小学校に拡充予定
- 南区総合防災訓練に白根高校の生徒による防災ボランティアの協力を要請

15

方針4. 交通の利便性の高いまちづくり

(主な取り組みと目標)

①公共交通の充実

- ・ 商工会，JC，行政，関係機関などで構成する「南区まちづくり会議」で公共交通などの検討を行う
- ・ 区バス，住民バスの継続運行収支率を30%以上に



- 平成29年4月「にいがた南区創生会議」発足
 - 平成30年6月，7月「みなみマルシェ」を実施
 - 平成30年10月12日 新潟市移住モデル地区
「地域活性化モデル」第1号に指定
- 今後，創生会議では，公共交通の方向性や公共交通ターミナルの設置について検討しまとめる予定
- 平成30年度 区バス収支率 30%維持の見込み



16

②国道8号の渋滞緩和

- ・国道8号の3・4車線化に向け，地権者や住民とワークショップを開催

↓

■平成30年度

- ・地権者や住民とワークショップを開催し，地元の合意形成に努め，事業について地権者等の合意を得た。
- ・8月に国が事業説明会を開催し，10月から現地測量と詳細設計に着手し，今年度中に国による説明会を予定
- ・ワークショップで意見・要望を取りまとめ，12月中に新潟国道事務所へ提言書を提出予定

17

③二次交通の検討

- ・舟運の社会実験を引き続き実施

↓

■平成30年度

- ・信濃川では，ウォーターシャトルを活用した2回の企画ツアーを実施予定（6月，3月）
- ・地域と学校パートナーシップ事業で臼井小学校の児童や地元コミ協などが乗船を体験

- 中ノ口川の二次交通としての舟運は，塩俵橋の架け替え後に検討が必要



18

方針5. いきいきと働けるまちづくり

(主な取り組みと目標)

①企業誘致の推進

- ・工業団地用地確保と関係機関との調整開始



■平成30年度

北部工業団地隣接地の工業団地開発予定

- ・平成30年12月 都市計画審議会
- ・平成31年 1月 都市計画決定
- ・平成31年 2月 開発許可
- ・平成31年 3月 造成開始
- ・平成32年 4月 分譲開始予定

19

②まちなか活性化

- ・空き店舗に27・28年で7店舗出店。
次年度拡充
- ・28年度7名のボランティアガイドが活動開始
3年後まで30人を養成



■平成29年度

- ・空き店舗活用件数：2件
- ・タウンガイド登録数：16人



20

②まちなか活性化

- ・白根バイパス全線開通に向けた社会実験実施



■平成29年3月 春まちフェスタ開催

来場者 12,000人



■平成30年6月 第1回みなみマルシェ開催

来場者 1,800人, 出店15店舗

7月 第2回みなみマルシェ開催

来場者 1,600人, 出店23店舗

■今後も現国道8号の利活用について取組み継続

21

③伝統工芸士の新たな「ものづくり」を支援

- ・白根仏壇組合, 月潟鎌との連携強化



■平成29年度

- ・白根仏壇の製造技術を活かした新たなものづくり 新商品試作件数：2件（目標：2件）
- ・月潟鎌組合との情報・意見交換

④凧綱原料の苧麻を地元で栽培

- ・3年後に地産地消の凧綱デビューへ



■平成30年度

- ・試験栽培した苧麻を活用した凧綱を1本製作予定



22

方針6. 活力ある魅力的な農業を 活かしたまちづくり

(主な取り組みと目標)

①「農地中間管理事業」の推進

- ・「人・農地プラン」の取り組み地域を次年度
4地域実施（28年度3地域）



■取り組み実績 計 10 地域

- ・ H27年度 3 地域
- ・ H28年度 3 地域
- ・ H29年度 2 地域
- ・ H30年度 2 地域



23

②特例農業法人の J R 東日本との連携

- ・ 体験型旅行商品の造成
- ・ 食と連携した旅行商品開発



■平成29年度

南区内の特定農業法人「株式会社 J R 新潟ファーム」と連携し、田植え及び収穫体験ツアーを実施



③農村の新しい魅力づくりと誘客の推進

- ・ レストランバスや観光農園との連携
農業体験教室や音楽祭を開催



■平成29・30年度

レストランバス運行事業体に南区の観光コンテンツを提供し、レストランバスのツアー造成に協力

24

- ④農商工連携・六次産業化の推進
・28年度は桃ペーストを商品化
次年度ル レクチエ水を商品化



■平成30年度

- ・JR東日本とJA新潟みらいと連携し、
南区特産ル レクチエを原料とした
「ル レクチエウォーター」を
商品化し、144,000本を生産・出荷



25

- ・ビジネスプランコンテストの実施
次年度事業の検証，30年度は事業拡大



■平成29年度

- ・ビジネスプランコンテスト「南区お土産アイデアコンテスト」を実施
応募数：78件（目標：30件）
○商品化部門（食品・もの）：24件
○アイデア部門（食品・もの）：54件



26

- ・食品の機能性に着目し大麦生産を拡大
大手食品メーカーへ販路拡大



■大麦作付け状況

	作付面積	取組企業
平成28年度	10a	・特定非営利活動法人 ゆう〜わ
平成29年度	210a	・特定非営利活動法人 ゆう〜わ ・ファーマーズ・マーケット いっぺこーと ・入澤製麺

27

⑤褐色斑点病対策（ルレクチエ）

- ・対策は葉，剪定枝を園外へ排出
バイオマスエネルギーへの活用実験実施



■平成29～30年度

- ・果樹剪定枝の固形燃料（ペレット）試作
- ・バイオマス発電燃料としての果樹剪定枝
利用実験を実施
- ・費用対効果検証の結果から
実現困難と判断



■今後は無煙炭化器の有効性を検証

28

方針7. にぎわいと多彩な交流の まちづくり

(主な取り組みと目標)

①観光施設の活用と整備

- ・ 28年度 笹川邸保存活用計画を作成
- ・ 33年度 実施設計。37年リニューアルオープン
- ・ 大風と歴史の館は体験メニューを充実

↓

■平成30年 笹川邸の耐震診断に着手

- ・ 6月 南区PR大使が大風と歴史の館一日館長に就任
- ・ 10月 南区PR大使&NGT48コレクション展「笹川邸ミュージアム」を開催。
期間中(13日間)の来館者数1,522人
- ・ 味方地区コミ協が、まちづくりサポート事業を活用して「笹川邸おもてなし事業」に取り組む



29

②パブリシティ効果の活用とSNSの活用

- ・ 引き続きNGT48を南区PR大使に任命
- ・ SNSのフォロワーを3年後には2倍に

↓

■目標設定時(H28年度末)のフォロワー数 Facebook, Twitter 合計 約2,100件

■平成29年度Twitter

- ・ 南区観光協会
ホームページアクセス数 : 316,317件
Facebookフォロワー数 : 1,494件
- ・ 南区Twitterフォロワー数 : 1,452件



■平成30年5月 角兵衛獅子PRサイト 「越後獅子と角兵衛獅子」が完成

30

③外国人観光客の誘客推進

- ・通年型の農業体験，凧上げ体験，食関連イベントなどと連携した旅行メニューを造成



↓

■平成31年度は，デスティネーションキャンペーンが開催されることから，JRと連携し旅行業者の企画旅行に協力

■ルレクチエのフランスへの里帰りの取り組みを契機として，東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人観光客の誘客を推進

31

④スポーツを活用した誘客推進

- ・白根ハーフマラソン参加者を
28年度1,500人から3年後は2,000人に

↓

■平成30年度実績 1,900人



⑤南区観光協会の活性化

- ・3年以内に観光協会事業を民間に移管

↓

■平成30年度

NPO法人みなみらいプロジェクトへ業務委託
及び引継着手 H31年移管完了予定

32